



寿
敬老の日

	対象 年齢		対象 人数	最高齢
大野木	69歳 以上	男性	69	99歳 上田 貢久 様
		女性	81	101歳 杉本 淑子 様
法 花	70歳 以上	男性	34	95歳 中谷 駿一 様
		女性	38	95歳 法花 京子 様
大 内	70歳 以上	男性	25	92歳 川口 俊 様
		女性	37	98歳 山内 美夫 様
七本木	65歳 以上	男性	13	93歳 今村 富司 様
		女性	13	98歳 稲澤ますゑ様

**9月15日(月・祝) 4地区で
敬老の日のお祝い行事が実施
されました**

伊賀市長からの お祝いメッセージ

敬老の日を迎えられる皆様へ

敬老の日を迎えるにあたり、皆様のご長寿を心から
お祝い申し上げます。

長年にわたり地域や社会のために活躍してこられた
皆様に、敬意を表しますとともに、今の私たちが笑顔で
豊かな生活を送ることができるのは、皆様が築き上げて
くださった礎あつてのことと感謝しています。

伊賀市では、地域において高齢者を支え、見守り
を行っていくことが重要とした、「伊賀市高齢者輝きプラン」
を策定し、健康づくりや介護予防活動の促進など、
各種事業に取り組んでいます。

皆様には、これまで培われてきた豊富な経験や知識
をもって、地域社会の発展にご助力いただければ幸いです。

結びに、皆様のご健徳で、心豊かな人生を過ごされ
ますよう祈念申し上げ、お祝いの言葉をいたします。

令和7年9月吉日

伊賀市長 稲森 稔尚

七本木区



七本木区では地区主催の敬老会が開催されました。みなさんに喜んで頂けるようスタッフが頑張って公民館にお祝いの飾り付けをし、毎年恒例の講演会では、七本木区のアイドル『チェリーズ』によるオカリナ演奏会が開催されました。なつかしの名曲や、みなさんご存じの時代劇ソングを華麗な指さばきで演奏して頂き、地区のみなさんもお手紙やに聞かされるひと時となりました。第2部では、お笑いトークの『川口喜三郎さん』をお招きし、楽しい時間を過ごして頂きました。講演会の後はお料理を召し上がって頂き、みなさんで楽しく談笑しながらのお食事となり、ゆっくりした時間をお過ごし頂けたと思います。
七本木区として、みなさまの益々のご健康とご長寿を心よりお祈り申し上げます。

法花区



法花区敬老会には招待者 72 名のうち 45 名の皆様にご出席をいただき、区役員等スタッフとともにお祝いの行事を行いました。ご来賓として稲森伊賀市長、上田市議会議員、花里法花老人クラブ会長にご臨席いただき、心温まるご祝辞を頂戴しました。余興として演芸グループ「にじいろ会」様にご出演いただき、すばらしいひと時を過ごしていただくとともに食事会とカラオケによるにぎやかで楽しい時間の中で日頃の疲れを癒していただくことができたかと思ひます。
最後に来年度の敬老会での再会を誓い、ご長寿を祈念しお祝いの会を終了しました。

大野木区



午前8時より菅原大邊神社にて、老人クラブ会長・女性部長・区三役が出席しお祝いと祈願祭を受けました。今年も最高齢者は101歳杉本淑子様、99歳上田貢久様でお二人ともお元気でお過ごしです。お祝いの対象者は150名で神社から撒饌を頂き、区からのお祝い品と併せて皆様にお贈りしました。ご長寿のお喜びを申し上げ、今後ともご健勝であられますよう心よりお祈り申し上げます。

大内区



午前11時より妙體寺にて、長寿祈願をしていただき、その後大内集落センターにて宴を催しました。敬老会のお祝いにとお忙しい中駆けつけていただいた稲森市長からご祝辞をいただき、男性最長寿の川口俊様の乾杯の音頭で開宴し、余興として手品師のマジョナ様の手品ショーで、楽しいひと時を過ごしていただきました。皆様方のご長寿と益々のご健康を心よりお祈り申し上げます。

ご注意ください 枯草火災多発！

焼却行為を行う際の注意点や準備物

- ① 強風注意報や乾燥注意報など、風が強い気候や乾燥した時期を避ける
- ② 周囲に燃えやすいものや、危険な場所を避ける
- ③ 複数名で焼却行為を行う
- ④ 必ず消火できるものを準備する
- ⑤ 火をつけたら、火が消えるまでその場を離れない

また、燃え広がってしまった場合は、無理に消火しようとせず、避難して119番通報をしてください。

七本木区環境整備&奉仕作業

七本木地区では、9月6日(土)に環境整備の出合い、翌日の9月7日(日)に金刀比羅祭礼の奉仕作業が行われました。出合いは七本木地区から予野地区へつながる市道の草刈り、同じく法花地区へつながる市道の草刈り、そして地区内にある防火用水の清掃を行いました。暑い中ではありましたが、熱中症に気を付けながら、地区内の環境整備に取り組みました。翌日の金刀比羅祭礼では、一家の多幸と無事息災、地域の繁栄を祈願して奉仕作業を行いました。夕刻からはお神酒を頂き、地区の親睦を深めるひとときとなりました。



花之木児童福祉会 タイムカプセル開封のお知らせ

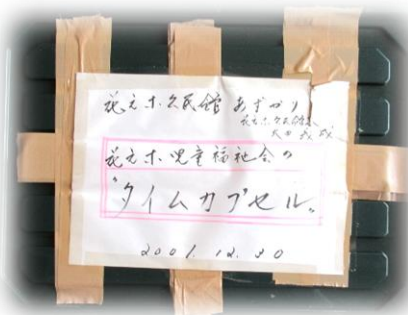
24年前(2001年)、花之木児童福祉会にて埋めた「タイムカプセル」を、いよいよ開封する時がやってきました。

当時の自分が未来に宛てた手紙や、友達と一緒に選んだ思い出の品々。今だからこそ感じられる、懐かしさや驚きがきっとあるはずです。

卒業生やご家族、関係者の皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

日 時：10月26日(日) 10時～15時 (住民祭開催期間中)

場 所：成和西小学校 グラウンド スーパーボールすくい横



芭蕉祭ポスター原画 最優秀賞受賞

令和7年度芭蕉祭ポスターコンクール(主催：伊賀市・公益財団法人芭蕉翁顕彰会)において芭蕉祭ポスター原画 最優秀賞を伊賀市立成和西小学校1年 早田夏乃愛さんが受賞されました。おめでとうございます。

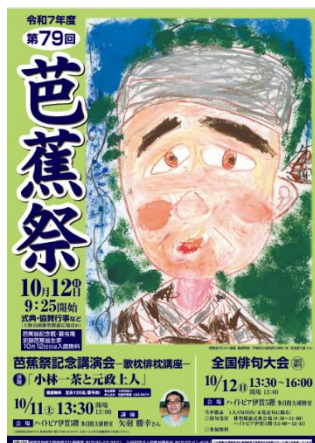
小中学生のみなさんから寄せられた芭蕉祭ポスター原画の入賞作品が展示されます。

(1) 10月3日(金)～10月17日(金)

ハイトピア伊賀 5階ギャラリー(午前9時～午後5時)

(2) 10月31日(金)～11月12日(水)

本庁舎1階 市民スペース(午前9時～午後5時)



第28回
花之木地区住民祭



10月26日(日)
成和西小学校

詳しくは後日配布される
プログラムをご確認ください
みなさまの来場お待ちしております。

ステージ発表
体育館

カラオケ
ピアノ演奏
オカリナ演奏

作品展示
体育館

保育園児・小学生作品
フォト 水墨画 陶芸
手芸 人権パネル
折り紙 己書 苔玉
ハーバリウム
干支絵皿

スタンプラリー
ワークショップもあるよ!

活動報告ほか
体育館

各種団体活動報告
お米の品評会
健康測定

ゲームコーナー
運動場

射的 輪投げ
ストラックアウト
スーパーボールすくい
GGホールインワンチャレンジ

お楽しみ
抽選会

フードサービス
運動場

お餅 豚汁 焼き芋
田楽 パン販売
キッチンカー
(から揚げ・たこ焼き)

花之木児童福祉会
2001年のタイムカプセル開封!



成和西小学校

3年生校外学習



9月3日(水)
伊賀市消防本部とマックスバリュ
上野店を見学させていただきました。

1・2年生秋野菜の種まき



9月12日(金)
大野木環境保全会の皆様のご支援のもと、
秋野菜の種まきをしました。
今年も大根とかぶの種をまきました。

5年生見学調査



9月12日(金)
本田技研工業株式会社鈴鹿製作所と、
おやつタウンへ見学調査に行きました。



PTA 環境整備作業

9月13日(土)
運動場、学級園周辺、林間等の
除草作業と側溝の掃除もしてい
ただきました。

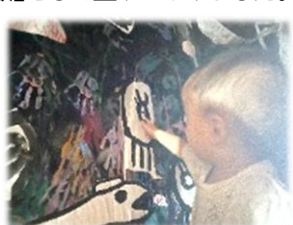


5年生稲刈り体験学習

9月17日(水)
大野木環境保全会の皆様に鎌を
使って稲を刈るやり方を教えて
もらい、時間いっぱい稲刈りを
がんばりました。

花之木保育園

えのぐやはさみ、廃材などを使っての制作あそびでおばけ作りが始まり…
みんなで『おばけ屋敷』をして盛り上がりしました。



ミニ懐中電灯を持っておばけたちを探しました

今季は暑い日が続き、時期をずらしてのプール遊びを満喫しました。子どもたちは水の感触に大喜びでした。



水のかけあい～



プール遊び！
たのしい！！



マットのうえに
乗って ゆ～らゆら



きもちいいなあ～



- 10/ 1 住民祭実施委員会 4 部会長+区長会議
- 10/ 4 成和西小学校運動会
- 10/ 5 伊賀市消防団総合訓練
- 10/ 6 F&G農地復元是正工事地内土壌・水採取立会い
- 10/10 住民祭出演者打合せ
- 10/11 伊賀市戦没者追悼式
花之木保育園運動会
- 10/12 芭蕉祭
- 10/13 スポーツの日
- 10/14 スポーツフェスティバル代表者会議
- 10/18 菅原大辺神社秋祭り
防犯協会街頭パトロール
- 10/20 応感神社秋祭り
- 10/21 人権大学講座
己書幸座
- 10/22 第3回住民祭実施委員会
- 10/25 住民祭準備・設営(午後)
- 10/26 第28回 花之木地区住民祭
伊賀市民スポーツフェスティバル
- 10/29 第8回 花之木地区住民自治協議会役員会



赤い羽根共同募金

ご協力をお願いします

共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

ご協力いただいた募金は、一旦三重県共同募金会に集められ、社会福祉協議会をはじめ、福祉施設、ボランティア団体等に配分され、さまざまな福祉活動の財源として活用されます。